

令和4年度 大野中地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和4年11月7日（月）午後6時から午後7時28分まで
- 2 場 所 大野中公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、森副市長、菅谷南区長、山口都市建設局長、仙波南区副区長
川村市民局長
- 4 出席委員等 19人
- 5 傍聴者 1人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	大野中地区の道路網の整備について
概要	<p>(1) 道路及び歩道の整備計画について</p> <p>(ア) 市として、大野中地区における「道路及び歩道の整備計画」があれば、計画内容を具体的にお教え頂きたい。</p> <p>(イ) 現在、実施中の「県道52号の拡幅整備事業」が進んだ場合、近隣の道路の交通量が大幅に増加すると思われる。</p> <p>特に、国道16号の古淵駅入口交差点（こもれびの橋）から県道52号の西大沼4丁目交差点（オルガノ（株）前）までの市道古淵麻溝台、及び県道52号の木もれびの森交差点から相模原ゴルフクラブの横を通過して中央区方面に伸びている市道大沼231号（こもれび通り）については、現在でも、朝夕において大変な渋滞になっているため、拡幅整備事業に合わせた「一体的な整備」が必要と思われるので、市の方針を伺いたい。</p> <p>(2) 市道古淵1号の交差点への信号機の設置等について</p> <p>市道古淵1号にある5差路状態になっている交差点について、市道淵野辺古淵、市道4号及び市道21号と交差しているが、いずれの道路も道が狭く、歩道もなく、また、交通量が多く、交通事故も多く発生しており、大変危険である。また、通学路にもなっているため、信号機の設置やそれに伴う拡幅等の交通安全対策が必要ではないか。</p> <p>(3) 市道淵野辺大沼の道路の交通安全対策について</p> <p>市道当麻大沼の大野台御嶽神社交差点から、木もれびの森方面へ進んだ市道淵野辺大沼の大野台7丁目交差点までの道路について、大野台御嶽神社交差点付近を除くと歩道がなく、道幅が狭い上に、電柱が多くて、事故も多く、歩行者等には大変危険である。道幅が狭いから車のスピードが出しづらくてよい、とも考えられるが、何か取り組むことが出来る交通安全対策はないか。</p> <p>(4) 市道大沼通の歩道の整備について</p> <p>国道16号の大野交番前交差点から大沼ふれあい広場付近までの市道大沼通の歩道について、ポールがあって狭く、でこぼこしていて、ベビーカーも通れないため、何らか歩道を改善できないか。</p>

<p>地区の取組状況等</p>	<p>(1) 道路及び歩道の整備計画について</p> <p>大野中地区における、道路及び歩道の整備計画について、具体的に教えていただきたい。</p> <p>県道52号拡幅整備事業が進んでいった場合、交通量が大幅に増加すると思われる。特に市道古淵麻溝台の古淵駅入口交差点から西大沼4丁目交差点と、市道大沼231号の2つの市道は朝と夕方、大変混雑している。</p> <p>これに関して、県道52号の拡幅整備事業に合わせて、一体的な整備が必要であると思うが、市の方針を伺う。</p>
<p>市の取組状況等</p>	<p>大野中地区における道路等の整備計画について、本年3月に、第2次相模原市新道路整備計画を策定しており、選択と集中の考え方を基に整備を行うこととしている。</p> <p>県道52号と市道淵野辺中和田の鶴野森旧道交差点は、優先整備箇所として整備を行うこととしており、未整備箇所の歩道について、今月中に業者を選定し、来年3月に約70メートル工事を行う予定となっている。</p> <p>県道52号拡幅整備事業が進んだ場合について、市では効率的かつ効果的な道路整備を進めるために、事業の有効性や実施環境を評価し、用地が取得できているところや、道路ネットワークで必要なところに優先順位をつけ、向こう10年間に整備すべき路線、事業を推進している。</p> <p>県道52号は、計画の中でも、優先整備箇所に位置付けられており、渋滞の解消を目的として、北里大学の前面の北里周辺工区と原当麻駅周辺を下溝工区としてJR相模線の立体交差の事業もあわせて行っている。</p> <p>北里工区については現在事業を行っており、北里大学病院の前から工を進めている。北里工区の整備が進んだ後、残る工区を施工していくこととなる。</p> <p>その際に、市道古淵麻溝台の西大沼4丁目交差点、大沼231号の木もれびの森入口交差点についても、県道52号の拡幅整備に合わせて改良していくことで、スムーズな交通が確保できると考えている。但し、道路整備は時間がかかるため、時間をいただくこととなる。</p> <p>また、道路整備の対応とは別に、ソフト施策として、周辺道路の渋滞の状況などを注視しながら、道路混雑が発生している交差点の信号機の点灯時間の見直し、通学時における交通手段や通学路の変更等についての啓発活動などにも取り組むこととしている。現在は、交通需要マネジメントを推進していくため、交差点の解析業務などを委託して行っており、今後は関係機関とも調整しながら、渋滞対策に資する取組なども進めていきたい。</p> <p>ハード面の整備とソフト面の展開を合わせて、渋滞対策に取り組んでいこうと考えている。(山口都市建設局長)</p>

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>工事には時間が掛かるということであるが、ソフト対応についてはスピーディーにやっていただきたい。</p>
<p>地区の発言</p>	<p>市道淵野辺中和田の鶴野森旧道交差点先の谷口に抜ける道路は今後どのように考えているか。</p>

<p>市の発言</p>	<p>第2次相模原市新道路整備計画の中でこれから先の10年間の事業を取捨選択しており、市道淵野辺中和田については計画の中には位置付けておらず、現時点では整備を計画していない。</p> <p>また、ソフト展開の話であるが、渋滞解消のため、交差点や信号の点灯時間の解析を行った後、関係機関との協議や様々な社会実験等が必要であると考えている。（山口都市建設局長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>この整備計画のなかで、通学路の歩道の整備について優先順位を上げてもらうことはできないのか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>通学路の安全確保については別物であると考えている。第2次相模原市新道路整備計画に位置付けがなくても、道路脇に緑色のペイント（グリーンベルト）をすることによって通学路であることを認識させ、自動車の運転手がそこを避け、減速することを促すなど、対策を行っている。</p> <p>また、通学路についても、できるだけ大通りを通らずに住宅街の中を抜けながら通学しているとも聞いている。</p> <p>通学路の安全確保については、教育委員会や地元の方たちのご意見をいただきながら、できることからすぐ実行していきたい。（山口都市建設局長）</p>

<p>地区の取組状況等</p>	<p>（2）市道古淵1号の交差点への信号機の設置等について</p> <p>市道古淵1号に対して市道淵野辺古淵と市道4号が接続する箇所について、十字路になっているが、少し離れたところに、左側の斜めに市道21号が接続しており、事実上5差路状態になっている。</p> <p>この5差路のいずれの道も非常に狭く歩道がない。さらに通学路になっているとともに、淵野辺古淵と市道4号を通して、古淵駅までバスが通っており、非常に交通量が多く、危険である。道路交差点の道路改良とともに、信号機の設置、周辺の狭い道路の拡幅や津久井踏切の一方通行の改善を要望したい。</p> <p>また、当該交差点は南区と中央区の境界となっている。市道古淵1号と、その交差点の所管は中央土木事務所であると承知しているが、所管の問題で事業が進められないということがないようにしてほしい。</p>
<p>市の取組状況等</p>	<p>通学路となっているような交差点については、カーブミラーの設置、交差点の真ん中の赤いペイント、グリーンベルトなどの安全対策をしている。</p> <p>当該交差点への信号機の設置については、中央区役所・南区役所から警察署に対して、継続して要望している。但し、信号をつけると、歩行者が渡れない赤の時間が出てくるため、歩行者が待つ滞留スペースが必要となる。歩行者の滞留場所がないと、待っている間に車が突っ込んだり、車にはねられるなど、逆に危険な状況になるため、信号設置は難しいと回答を得ている。</p> <p>一方で、交通量も非常に多いため、昨年度交通量調査を実施した。今年度は、現地の測量なども行い、どのような形で道路の改良、安全対策が図れるかということのを改めて検討している。</p> <p>本件については、平成23年度に要望があり、周辺の方と話し合いながら検討していたが、実行に移せなかった部分があるので、改めて対応を考えていきたい。</p> <p>当該交差点については、道路のセンターが少しずれており、こういった交差点は、事故も起きやすくなるし、通り抜けしにくい状況もある。今年度、測量を実</p>

	<p>施しているので、平面図を作成し、どのような改良が適切かを考えているが、歩道を作る場合には、用地の取得等について地権者様にご協力をいただく必要がある。</p> <p>また、5差路は信号の設置が厳しくなる状況もある。市内でも他の場所に5差路はあるが、新たに作った5差路に信号を設置するとなると、警察と改めて調整をする必要があるが、子供の安全も大変重要なので、継続して検討する。</p> <p>時間が掛かる部分はあると思うが、要望に応えられるようにしたい。（山口都市建設局長）</p>
--	--

懇談内容	
地区の発言	<p>市道古淵1号は、昔、大山街道と言われており、大山詣の街道の1つで、隣町の木曾に宿場があり、にぎわったと聞いている。</p> <p>そのような大切な道路を将来に渡って残していくためにも、改良が必要であると思っているので、まちづくりの観点からも、危険な箇所解消について努力していただきたい。</p>
地区の発言	<p>当該交差点は車を運転する側として言うとも見通しが悪くて危ないため、基本的には使わないこととしている。</p> <p>話がずれるが、古淵駅から出た交差点が、魔の交差点と呼ばれているというのは本当か。</p>
市の発言	<p>当該交差点について、交通量が非常に多いことや、ブロック塀やフェンスがあり、車が見えにくいカーブであることを確認している。今後測量等の結果も踏まえて改良を進めていきたい。</p> <p>魔の交差点については、たまたま自転車の接触事故があった時に、当事者がSNSで発信したことから発展している。そこだけ事故が多いなど、構造上の問題がある交差点ではないことを確認している。</p> <p>事故が多いところは、交差点の真ん中に赤いペイントや夜に光る反射板を設置して注意を促したり、カーブミラー等を活用して、安全対策に取り組んでいる。利用する方がルールを守ったうえで、事故が起きるのであれば、構造上の問題もあるが、ルールを逸脱して起きた事故については、運転者の責任やマナーの部分も多々あると思う。</p> <p>ただ、事故の起きやすいところについては、対策を行っているが、地域の中で、この交差点が見えにくいとか危ないということがあれば、お申し出いただきたい。現場も確認しながら対応していく。（山口都市建設局長）</p>

地区の取組状況等	<p>(3) 市道淵野辺大沼の道路の交通安全対策について</p> <p>市道淵野辺大沼の大野台御嶽神社交差点から大野台7丁目交差点の区間について、電柱が道路にかなりはみ出している。</p> <p>その中の1ヶ所については、電柱が約90cmはみ出ている。この道路は、6m道路であると思われ、車の幅は170～200cmなので、2台すれ違うとほとんど隙間がないこととなる。夜中にここを初めて通る人は、信号に気を取られてしまい、事故につながることもある。他にも、約30cmはみ出している状況がある。1度、木もれびの森という信号の横断歩道の手前の出っ張った電柱を見ていただきたい。</p>
----------	--

	<p>また、大野台御嶽神社交差点から反対側の由野台の方に向かって、同じように電柱が出ている。</p> <p>10年ぐらい前に市議会議員と一緒に現地を歩いたことがあるが、何とかならないかと言っていた。電柱を木もれびの森へ動かすことは可能だと思うが、それ以外は民家となっているので、私有地にお願ひしないといけない。大変かとは思いますが、その信号のところは特に確認していただきたい。</p>
市の取組状況等	<p>現地を概ね確認し、市道淵野辺大沼は、電柱が非常に多いと感じている。また、通学路については、市道淵野辺大沼を横断することで当該道路に沿っては、あまり歩いていないと認識している。さらに、生活道路への侵入を防ぐ信号の時間規制や、7時から8時半、13時から16時の交通規制などがかけられている。路側帯にはグリーンベルトもあり、運転者への注意喚起も行っている。</p> <p>先ほどの約90cm電柱が出っ張っているところは、もう一度確認をするが、この路線で見ると新規に分譲住宅の工事を行った際には、電柱を敷地の中に入れるように指導している。</p> <p>元々建っている家については、電柱は敷地内に入っていないが、敷地内への電柱の移設を指導している。一定規模以上の開発になると、歩道の土地を提供していただいております、この路線も、部分的に歩道があったり、反対側にあったりというのは、開発に基づいて、安全を図っているからである。</p> <p>電柱があることで、すれ違いのときに減速し、スピードを出しすぎて通過する車両は減ると思うが、一方で電柱への衝突事故が起きるといった状況も考えられる。地元の方とも話をした上で、減速を促すドットという白い点線を路肩に設置するなどの取組をしていく必要がある。</p> <p>電柱については、今ある電柱を敷地内に入れて欲しいという話をした時に、ご理解をいただけない方もいる。電柱が入ったことにより防犯上においても、よじ登って家に入ってしまうということを言われたこともあり、危惧される部分もあるため、対応は難しい。(山口都市建設局長)</p>

懇談内容	
地区の発言	電柱を民地に入れるのが一番良いと思うが、なかなか難しいと思う。木もれびの森に入れるのは、民地に入れるよりは難しくないのではないかと。
市の発言	話があった道路については、改めて確認させていただきたい。木もれびの森については、市の管理なので、庁内調整を行い、対応できるものは、対応していく。(山口都市建設局長)

地区の取組状況等	<p>(4) 市道大沼通の歩道の整備について</p> <p>国道16号の大野交番前交差点から大沼ふれあい広場付近までの市道大沼通りの歩道について、路肩にポールがあって、でこぼこしていて、ベビーカーも通れないため、改善ができないかとテーマを挙げさせていただいた。</p> <p>歩道が綺麗に整備されているところは、大沼交差点、大野交番前交差点の付近だけで、他は狭かったり、歩道かどうかさえ分からないところもある。</p> <p>この通りは、2つの幼稚園の子供たちが通園で使っている。また、小学校4校と中学校2校の通学路となっている。</p>
----------	--

	<p>わたしの子供がこの通りにあるひまわり保育園に通っていたが、お母さんたちからベビーカーだとポールがあって狭いことや、でこぼこして通りにくいことから、車道を歩いているという話が上がっていた。</p> <p>また、当該道路には相模原すみれ園という施設もある。施設では、大沼神社に行くまでに狭くて、車椅子が通れない、歩行できる利用者も転倒の危険があるため散歩もできなにご家族や現場の声が上がっていた。</p> <p>この通りには、横断歩道が10ヶ所ぐらいあるが、信号機がついている横断歩道は、大通りに面している交差点と、ひまわり幼稚園の入口の3ヶ所のみであるため、車がスピードを出しやすい道になっており、事故が多いと思う。</p> <p>小さい子供から高齢者まで、車道を使うことがない、安全に通れる危険のない歩道の整備をお願いしたい。</p>
<p>市の取組状況等</p>	<p>市道大沼通りの国道16号から大沼交差点までは、交通量が非常に多くなっているため、横断防止柵を設置し、むやみに横断しないようにしたり、車から避けられるような柵を作り、車と歩行者を分離している。</p> <p>逆に、ガードパイプの支柱により、その幅分の歩道が狭くなっているところがある。また、でこぼこについては、大沼神社の駐車場の入口のところ、若干でこぼこしていたが、それ以外のところは、コンクリートを打って平らにした歩道となっているので、概ね平坦であることを確認している。話にあった部分は改めて現場を確認して、出入りに支障がないような工事をするこゝで対応していきたい。</p> <p>一番狭い歩道は50cm幅となっており、車椅子は75cm以上なので通れないところもある。大沼神社の前にある電柱の部分が一番狭いと思うが、話にあったようにここを通るためには、車道に1度出ないと通れない状況である。ここについても、神社の敷地に電柱が入れられれば、電柱の分30cmほど広くなり、安全が確保できるので、電柱の所有者などの関係者と協議していきたい。歩道を広げるために、このパイプを抜いたりすると、逆に安全上の問題も出てくるため、そこは慎重に対応すべきと思っている。また、歩道の幅を確保するだけの対応だと、車のすれ違いが難しくなるので、そこも慎重に判断していきたい。この路線も全部確認できたわけではないので、何かお気づきの点があれば、ご相談いただきたい。</p> <p>(山口都市建設局長)</p>

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>道路にある雨水側溝は道路の一部なのか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>道路の排水を処理する側溝なので、側溝の民地側までが道路となっている。</p> <p>(山口都市建設局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>大沼神社の前に、側溝の蓋がずれて、危ない状況になっている部分がある。</p>
<p>市の発言</p>	<p>ご指摘の箇所は大沼神社の駐車場の入口となっている。過去の経過は分からないが、出入りに支障があることから、蓋のまま残しているように見受けられる。</p> <p>その前後については、雨が降った時に道路の水が入るように、グレーチングという網目となっているところがあると思うが、その前後はコンクリートを打設して平らにしている。</p>

	<p>ここについては、平坦ででこぼこやつまずきがないようにする方が良いので、何らかの対応を考えていく。予算等の関係もあるが、できるだけ早く対応したい。（山口都市建設局長）</p>
地区の発言	<p>道路が狭いところだと、防災訓練をやるときに、リアカーが通れない。そうになると、車道に出ることになるが、どう考えているか。</p>
市の発言	<p>防災訓練等に利用するリアカーが通れる歩道は少ないと思う。通学路もそうだが、できるだけ大通りを避けつつ、通らなければいけないところがあれば、横断をして、住宅街や路地を通っていただく方が良いと思う。</p> <p>通学路も大沼通りを横断している箇所は、2ヶ所ほどというのを確認している。大沼通りの長い区間を、リアカーを引く必要があるのであれば、誘導を用意する等、安全対策が必要である。（山口都市建設局長）</p>

市長の感想等	<p>4つのお話を頂戴した。真摯に受けとめて、できるところから対応したい。道路整備は人の命に係わる大切な話であるため、お子様からシニア世代まで安全で安心できる道路整備をする必要がある。</p> <p>信号機に関しては、旧伊勢丹跡地の前の歩車分離についても、実現まで長い時間が掛かった。</p> <p>私は住まいが鶴野森で、個人事務所が西大沼にある。まさに神社の前に事務所を構えており、今日は目に見える形でよく課題がわかった。</p> <p>私は通勤で市道淵野辺中和田、市道淵野辺大沼をよく通っている。また、週末にこの地域を歩いたり、週に1回は自転車で2時間ぐらい、現場を回っている。そういった意味で皆様の声をしっかり受け止めている。</p> <p>山口都市建設局長の前の都市建設局長は国交省から来ていたが、本市では道路用地を虫食いで取得している状況であるため、道路整備が進んでいかないという話をいただいた。その話を受けて、森副市長や山口都市建設局長に尽力いただき、選択と集中を踏まえた整備を行うため、第2次相模原市新道路整備計画を策定し、できるところから進めている。</p> <p>例えば私が住んでいた相模台には狭隘道路が多いのだが、60年ぐらい前に都市計画決定をした相模台双葉という道路の整備は進んでいない。一部だけ取得している用地があるので、来年度から有効活用しようと思っているが、このように虫食いで取得してきた道路が多くあるので、選択と集中で取り組んでいく。</p> <p>他にも、県道52号の西大沼4丁目まで都市計画決定をしているが、16号に向かって、それ以降は都市計画決定をしていない。</p> <p>相模原愛川インターチェンジから坂を上り、コンビニから400mを、10年間かけて整備をしており、100億円の予算で買収から道路整備まで行う。</p> <p>また、バスも相模大野から北里大学まで通常は20分で行けるが、雨の日は1時間以上かかる場合もある。こういった課題についてはバスベイを作って行き違い線を作ってはどうかなど、色々な提案をしている。</p> <p>県道52号は、非常に渋滞が多いことは承知しており、しっかり取り組んでいきたい。</p> <p>相模原市の建設事業費は約200億円弱となっている。大体市民1人当たりに換算すると、指定都市だと大体6万円であるが、本市は3万円となる。</p>
--------	--

こうした中で大型事業をいくつもやることはできないが、これまで予算の裏付けや、中長期的な試算がない中で整備するという話をしてきた。

例えば、鵜野森の皆様からは、若松鵜野森の土地区画整理事業をやって欲しいと意見が出ている。事業を進めることは良いと思っているが、現在、道路計画がない中で、話が進んでしまっているなどの課題がある。

貴重なご意見いただいたことに感謝する。（市長）